



御用邸あじさい祭り(あしたかホーム)

「介護人材確保をどのように」

みはるの丘浮島 施設長 山下 勇

私も、高齢化率を計算するうえで、四月から分母にも分子にも数の入る一人になりました。(六五才)

春風会に勤務して早いもので三八年目を迎えております。

私が福祉の仕事に入るきっかけになったのは、子供の誕生とあしたかホームで県下最初のデイサービス事業を開始することと、たまたま大型自動車の運転免許証を持つていたことでした。

当時は、資格制度も整備されておらず、資格と云えば社会福祉事事だけでした。

福祉制度が充実していく中、資格も制度化され、介護の仕事も世の中に認知される中、福祉を学ぶ専門学校、大学も多くでき、今日に繋がっています。

私が長年福祉の仕事を続けられてきたのも、無資格者でも、資格を取得しスキルアップできることと福祉の仕事の尊さがあったからだと思います。私が職員に伝えたいことは、介護士の仕事は三大介護だけが介護士の仕事ではなく法人の理念にもあるように利用者の「人権の擁護」を守ることが介護士の一番重要な仕事であり、胸を張って「人」を守る仕事をしています

と云えるような介護士になってほしいと思います。介護の仕事は一般的に3K、4Kと云われて嫌われてきましたが、他の業種にはないやりがいのある仕事だと思います。最近までは運輸、介護関係が人材不足と言われてきましたが今日は、ほとんどの業種が人材不足となっています。

その中、介護の世界にもEPAや外国人技能実習制度も認められてきており、春風会も昨年よりEPA応募しております。今年には全施設で本格的に取り組むことになりました。すでに法人の中では外国人(スリランカ・中国等)の方も数名働いています。

また、働きやすい職場環境の整備の一環として昨年からの記録の電子化にも取り組んでいます。利用者職員の安心安全のため介護ロボットや介護用具の導入も進めていきより効率の良い仕事を進めることも求められています。

さらに、法人では新卒者に選ばれるように、職員紹介制度や奨学金返還手当制度、資格取得補助制度等を取り入れより働きやすい法人を目指しています。

合同職員 研究発表会

平成三十年四月二十五日(火)
沼津プラサヴェルデにおいて
第二十一回法人合同職員研究
発表会が開催されました。

研究発表会は全施設で研究成果を共有し、施設サービス向上に役立てる事を目的に、毎年開催し今年で二十一回を迎えました。はじめに石川理事長より「法人の職員数も七百名を超え、研究発表は福祉サービスの向上を図るための重要な事業であると考えています。現在では、「あしたかホーム」や「みはるの丘浮島」では、ICTを取り入れたスマートな介護を実施し始め、時代の流れと共に新しい技術の進歩に努めています。」と挨拶されました。

特別表彰では他の模範となる職員として伊豆中央ケアセンター事務主任佐藤知子さん・ぬくもりの

里在宅課長成川いずみさん・あしたかホームデイサービス主任多家鉄平さんが、永年勤続表彰は石川理事長をはじめ五十名の方が表彰されました。また、高尾園音楽療法講師の玉置茜先生による演奏と歌も披露されました。続いて各施設職員による合計九題の研究発表が発表されました。今回、優秀賞に選ばれた三題を紹介させていただきます。

食を通じて地域貢献につなげる 管理栄養士としての役割とは 伊豆中央ケアセンター栄養課

春風会の園訓の中にもある「地域福祉に貢献する」について管理栄養士として出来る事はなにか考えていました。きっかけは地域福祉委員でサロンに参加させていただいたことでした。サロン講座では、高齢者の方々より、たくさん質問があり「食」に関心があることを思い知らされました。さらに日本栄養士会では、管理栄養士も在宅でのアピールの必要性があるとの研修を受け、在宅訪問管理栄養士の資格を取得する気持ちに変まりました。在宅の利用者宅を何回も訪問を続けてやっと耳を傾

けてくれた時は、とても嬉しかったです。

今後も「食」を通して地域貢献につなげる役割を管理栄養士として伝承していきたいです。



サロンでの講座の様子

漢検 平均年齢 八十六・二歳も挑戦 (漢字検定準会場として登録) あしたかデイサービス

あしたかホームデイサービスでは、多岐にわたるプログラムの中『座るデイ』から『歩くデイ』として散歩やノルディックに力を入れてきました。今回の研究では、意欲的に自ら活動できるプログラム提供ができないか模索し、書くことに着目し、満足感や充実感をもって書くことができる様、漢字

検定合格を目標とし取り組みました。

始めは、渡されたプリントをただやっていたのが、徐々に変化し、自宅で自己学習をされたり、利用者同士教え合い、励まし合うようになり、少しずつ自信をつけ合格という目標に向かって自ら進んで学習するようになりました。

ご高齢となっても、具体的な目標があり、楽しさや適切な支援があれば、意欲を持ち続けて、自分から進んで取り組めることが分かりました。すなわち、やりたいことがあれば、高齢者の生きがいや喚起され、それが学習を促進し、達成感や自己実現の獲得につながっていくのです。

今後も興味関心を持つ活動を提供し、やらされている感をなくし、進んで参加してもらえようように支援していきたいと思えます。私たちは『行きたいデイサービス』を目指していきます。



合格証の授与

特別表彰・永年勤続表彰

また来たい(期待)ショートステイ
レスパイトケアから
利用者主体のサービス提供へ
あしたかホーム短期入所

ショートステイには、「ご家族の介護負担を軽減させ、在宅介護の継続を可能にしていく」というという大きな役割があります。しかし、利用者に向けて「泊りに来て来ていてくれるわけではな

特別表彰者

春風会では多年に亘り法人の経営施設・事業等の発展に貢献した職員に対し特別表彰を行っています。



特別表彰者の3名と理事長

- 佐藤知子(伊豆中央ケアセンター事務主任)
- 成川いずみ (ぬくもりの里在宅課長)
- 多家鉄平 (あしたかホームデイ主任)

永年勤続表彰者

- 四十年勤続表彰者**
 - 石川三義 (あしたかホーム)
- 三十年勤続表彰者**
 - 川又恵子 (沼津虹の家)
- 二十五年勤続表彰者**
 - 福島恵子 (フレイグあしたか)
- 二十年勤続表彰者**
 - 佐野光正 (あしたかホーム)
 - 水野千恵子 (原デイサービス)
 - 北澤琢朗 (ぬくもりの里)
 - 大島健司 (伊豆中央ケアセンター)
 - 高橋のり子 (伊豆中央ケアセンター)
 - 伊賀恭子 (北狩野ケアセンター)
 - 加藤博士 (沼津市立高尾園)

十五年勤続表彰者

- 青野智子 (あしたかホーム)
- 高橋奈央子(あしたかデイ)
- 小野由利子(あしたか訪問介護)
- 小出江美 (中伊豆放課後児童)
- 西山美智代 榊 美紀 (以上ぬくもりの里)
- 西島みゆき(サポートセンター絆)
- 長田直樹 成川輝紗 (以上みはらの丘淳島)
- 十年勤続表彰者**
 - 阪本清美 神戸孝宜
 - 山本いづ美 林 美幸
 - 萩原美津子 齋藤優子 (以上あしたかホーム)
 - 小野絵梨 中澤正司 (以上あしたかデイ)
 - 山口法子 高田久美子 (以上フレイグあしたか)
 - 佐野和隆 渡邊 学 (原デイサービス)

い」とおっしゃる方も少なくなく、なんとかレスパイトケアの役割を果たしつつ、利用者主体のサービス提供ができないかと考えました。そこで私たちは、①利用者にもショートステイに来る目的をもっていた、ただけるために、行事カレンダーを事前に配布し、イベントを確認したうえでサービスを利用して頂けるようにしました。次に、②人手(人件費)をかけずに行事

を実施する方法を模索し実施しました。月に数回行事を実施し楽しんでいただくためには、手をかけずに行事が提供できるようにする必要があります。工夫を凝らし行事を実施できたことで、利用者の満足度も高まり、スタッフの大きな自信にもつながったと感じています。



天ぷりづくり

- 鈴木直美 (ほの屋毛)
- 庄司幸雄 (以上沼津虹の家)
- 五十嵐理恵 佐藤まさ江
- 澤 とし江 高野瑛乃 (以上伊豆中央ケアセンター)
- 當 千賀子 (修善寺地域包括)
- 森 直子 (伊豆中央ケア訪問介護)
- 山田幸弘 鈴木明美 (以上ぬくもりの里)
- 西村知之 近田あけみ (以上フレイグあしたか)
- 山口亜美 (あおほの家)
- 杉山陽亮
- 本田 良 (以上みはらの丘淳島)
- 横尾和季
- 佐藤隆文
- 増田洋一 (以上沼津市立高尾園)



平成30年度
社会福祉法人春風会 新規採用職員辞令交付式
～新たな仲間たちを迎えて～

春風会では、平成30年4月1日付け新規採用職員の辞令交付式を行いました。今年度の同日付け新規採用職員は学卒者11名、中途採用者6名の計17名です。

新人の皆さんが少しでも早く社会人生活に慣れ、一人ひとりが希望された職場で活躍されることを、私たち春風会職員は応援し、バックアップしてまいります。



石川理事長より、一人ひとりに辞令が手渡されました



平成30年度 社会福祉法人春風会 入社式



あしたかホーム関係施設の新規採用職員

法人相談委員会の
取り組み

法人相談委員会は、四つの特別養護老人ホーム、二つの地域密着型特別養護老人ホーム、救護施設の相談員と支援員にて構成されています。

委員会は定期的に実施され各施設の問題点や取り組みについて互いに情報共有し、円滑な施設運営に結び付けております。

過去の取り組みとしては、アクシデントレポートの統一化に努め、書面を通し状況を相手に正確に伝え、再発防止に努められるよう工夫した報告書を作成しました。次の取り組みとして防災体制の見直しを行います。災害協定を結んでおります松仁会（埼玉県）に足を運び他施設の取り組みを直接見ることで、法人内施設の防災意識を向上させ、防災マニュアル等の見直しを行いました。

平成三十年度は法改正に伴い入所者の栄養改善や医療ニーズに対応する新たな加算が増えました。しかしながら、医療的な連携や書類的な問題があり、すぐに算定することは難しい状況にもありますが、今後この委員会の場を情報共有の場とし、新たな加算も算定できるようなサービスの質向上と安定した施設運営に向けて取り組んでいきたいと思っております。



続いて優先入所についてです。介護保険が施行され増加傾向だった待機者数も、平成二十七年四月より入所条件が要介護三以上（要介護一、二は特例）に見直されたことや、サービス付高齢者住宅や住宅型老人ホーム等の施設の普及により、見直し前に比べると待機者数は四十人程減少しております。入退所が各施設毎年二十人程有る中で、待機者の減少と、加算要件見直しにより新規入所者の状況も考慮する必要があります。新規受け入れに難航しております。

最後に新規入所希望の方には、サービス内容を丁寧に説明し、申込みから利用まで円滑に繋げることができるようにし、また利用者や入居者にとっても、快適なサービスを提供できるよう相談員委員会を通して検討し実施してまいります。

職員の働きやすい職場環境整備

～キャリアアップ支援制度の充実を目指して～

社会福祉法人春風会では、職員の資質向上並びに業務体制の整備・強化、職場定着を図る事を目的に、資格取得支援制度を設け職員のキャリアアップ支援をしております。今年4月から新たに就職後奨学金を返還している職員を対象に奨学金返還手当を設け、若手職員の生活基盤の安定に少しでも寄与し、福祉・介護人材の確保と育成を図りたいと考えています。また、法人の新卒・中途採用職員募集に際し、職員から広く就職希望者の紹介をいただく職員紹介制度を設けるなど、様々な人材確保の取り組みを行っています。

春風会 奨学金返還支援制度

今年4月に設置された制度です。大学院・大学・短大・専門学校等の修学時に奨学金を利用し、就職後にその返還をしている職員に対し、その返還額の一部助成をすることで経済的支援を行っています。支援期間は最長で5年間とし、返還期間が5年に満たない場合は返還期間とします。年齢制限、常勤・非常勤、新卒採用・中途採用の区別はありません。助成金額は返還額の2分の1相当で、月額上限は1万円です。

この制度を利用し、現在、20名の職員が奨学金の返還を行っています。

春風会 資格取得支援支援制度

介護の資格取得に向けてキャリアアップを目指す職員を支援するために、資格取得・更新、研修、受講、受験に対する支援を行っています！社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な一般養成校のスクーリング・実習参加の職務免除のほか、専門学校ユマニテク医療福祉大学校と提携し、介護職員実務者研修の講座をあしたかホームで開講。それに際し、受講を希望する職員の研修費負担の一部補助、並びにスクーリング講義参加時の職務免除を行っています。

この制度を利用し、現在22名の職員が各種研修を受講しています。

春風会 職員紹介制度

介護の仕事のイメージは「きつい」「汚い」「危険」の3Kと言われてきましたが、最近では「給与が安い」を加え4Kと言われています。しかし本当にそうでしょうか。私たちは「感謝」「感動」「絆」が福祉の3Kではないかと思います。この業界の良さをもっと知ってもらいたい！法人の仲間に入って一緒に働いてほしい…。それには実際に働いている職員の皆さんの生の声を就職希望の皆さんに聞いていただくことが一番です。

春風会では、新規学卒者や中途採用職員の募集をすることに際し、職員の皆さんからお知り合いや友人など、就職を希望される方の紹介をしていただく職員紹介制度を行っています。紹介された方が採用され勤務を開始した後、紹介手当を支給しています。

「この人なら…」という方がお近くにいましたら、どんどん紹介をして下さいね！



ようこそ子ども園へ



今年春の訪れが早く、四月に入ると県内各地のソメイヨシノはその花をほとんど散らせてしまいました。そのような中、五日にあまぎ認定こども園、なかいず認定こども園の両園で入園式が行われました。

あまぎ認定こども園では、ひよこ組（〇歳児）四人、あひる組（一歳児）四人、りす組（二歳児）六人、うさぎ組（三歳児）十人、きりん組（四歳児）一人の計二十五人が新しくこども園の仲間に加わりました。

また、なかいず認定こども園でも、さくら組（〇歳児）五人、ちゅうりつぷ組（一歳児）五人、つくし組（二歳児）七人、すみれ組（三歳児）十四人、ゆり組（四歳児）一人、たんぼぼ組（五歳児）一人の計三十三人が新しく仲間に加わりました。



このうちあまぎ認定こども園では、園長挨拶の後、来賓代表の鈴木八十博様から、ドラえもんのパープサートを使った楽しいお話を頂き、子ども達は興味津々。

続いて、ぞう組（年長さん）のおにいさん、おねえさんたちが「チューリップ」の歌で歓迎です。

そして、フィナーレは、本園職員による歓迎のアトラクション「アンパンマンショー」です。音楽が始まるとそれまでぐずっ

ていた子ども泣くのをひと休み。ステージに注目です。

最後に記念写真を撮って入園式はあつという間に終わりました。

何年かしてこの子ども達が卒業するころにはどんなおにいさん、おねえさんになっているか、とても楽しみです。

あいあいキッズ



四月二日、伊豆市役所天城湯ヶ島支所が旧湯ヶ島幼稚園跡地に移転し、支所内に「湯ヶ島子育て支援センター（あいあいキッズ）」が開設されました。

運営は伊豆市より委託され、あまぎ認定こども園の職員が毎週火曜、木曜及び第二・第四土曜に行って楽しく遊ぶ親子をサポートしています。

利用者は地元の方が中心ですが、中には遠く三島市や函南町の方から来た方もいて、好評です。

また、市では旧湯ヶ島幼稚園園庭を全面芝生化する予定です。遊具もたくさんあるので今後ますます多くの子ども達が集まり、楽しく遊ぶことができる場所になることが期待されます。

子育てをサポートします!





【はらカラ体操教室とは?】

平成24年度から沼津市より委託を受けて実施していたココカラ教室が、平成28年度をもって終了しました。これまでがんばってご参加いただいた方々や、地域の皆様へ、はらデイサービスとして何かお役に立てることはないかと考え、このはらカラ体操教室を企画しました。

「最近出不精で運動不足になっている」「認知症の予防をしたい」など、ご高齢の方々から聞かれる心配ごとに、少しでもお力になればと考えています。

【開催頻度や活動内容は?】

開催頻度は5〜7月、9〜11月、1〜3月のそれぞれ月2回(第2、4水曜日)で、3ヶ月を1クールとして年3クール開催しています。1回の活動時間は1時間半。その中で、健康チェックや体操による

健康維持・増進活動。またコグニサイズや、はらカラオリジナルの「想い出ノート」の記入による認知症予防活動を行っています。「想い出ノート」とは、毎回スタッフの指定するテーマに沿った想い出をノートに記入するという活動です。大切な想い出を思い返し文章にすることで、脳の活性化につなげていきます。これまでのテーマは「ふるさと」や「初恋」など。発表して頂ける方には皆さんの前でお話しして頂きます。

また、1クールに1回は目玉になる企画を用意。昨年度は理学療法士による生活相談会と法人職員によるフォークデュオ「しゃぼんダマンズ」による歌声喫茶を行いました。大変ご好評をいただきました。

【費用や参加方法は?】

参加料は無料ですが、スポーツ保険料として、1クール150円が掛ります。ご参加は、はらデイサービスセンターへお気軽にご相談ください。会場の原地区センターまでご自分で来られるのが難しい場合は、公用車による送迎も行っています。

今年度も、地域の皆様にデイサービスができることを模索しながら、また楽しみながら続けていきます。



プレーゲあしたか小規模多機能では平成28年度より『ほつとcafé』を開催してきました。第一回開催の平成28年9月15日から毎月第一水曜日と第三木曜日の月二回開催しています。

取り組みを始めた当初は小規模多機能内での「憩いの場」となりました。開催を重ねていき、プレーゲあしたか特養のお年寄り、「ほつぽ」の子ども達がカフェに来てくださり、プレーゲあしたか内での「施設内交流」の場となりました。現在ではボランティアを募りハーモニカやピアノ演奏の催し物を行い、地域の方が来所して下さる様になりました。

『ほつとcafé』利用の声

小規模多機能の利用者の反響は「楽しかった。またやってほしい」「今日は休まず来て良かった」

「た」「普段話さない人とカフェで話せて良かった」との喜びの声を頂きました。プレーゲあしたか特養のお年寄りは「初めての場所です緊張したけど雰囲気良かったです。楽しかった」と仰っていました。「ほつぽ」の子どもたちは「カフェが始まると泣いていた子どもも泣き止んだ」とのお話を聞かせて頂きました。地域の方、ボランティアさんからは「お年寄りが楽しそうにコーヒーを飲んでる姿を見て良かった。これからも頑張って続けて下さい」と仰って頂きました。

これからの利用者、地域の皆様に楽しんで利用して頂けるよう様々な企画をしていきたいと思えます。



とよはし音楽祭 喜びの 金賞受賞

平成三十年二月二十四日に愛知県のごころの病・チャレンジ音楽の祭典「第八回とよはし音楽祭」に初めて出場しました。沼津市立高尾園の利用者二名が作詞を行い深沢施設長が作曲をして出来た歌が「ごころの居場所」と「小雨(こさめ)」です。

この二曲がノミネートされ本選へ出場しました。ステージでは高尾園音楽療法の玉置茜先生に歌って頂き、作詞を担当した二名の利用者も一緒に楽器を担当し出演してきました。



結果は、大久保幸代さんが作詞をした「小雨」が見事に金賞を受賞しました。

この一年間、茜先生と取り組んできた音楽活動の賜物であり、歌によって心と身体が癒され皆が元気になる事の実感を得られ、改めて音楽の素晴らしさを感じました。

また、金賞を受賞した「小雨」は第二十一回法人合同職員研究発表会にて披露させて頂きました。

介護の魅力 発見ツアー



二月二一日、三月一三日の二日間に渡り、「介護の魅力発見ツアー」の受け入れを実施しました。両日で参加者約四十名で、男女比は三対七、年齢は二十代から六十代の参加がありました。

介護人材の確保が困難な状況下において、就職するための選択肢に入れてほしい、世間一般の方が持っているだろう介護のイメージを変えたいという想いで受け入れの内容を計画しました。ツアーの目玉として「転職者からのメッセージ」を企画しました。

あしたかホーム入居職員において、異業種からの転職者は約二十五%であり、新卒者、他法人からの入職者と比べ、定着率も高く、継続して働いていきたいという職員が殆どです。そこで、転職者(魚屋、エス

テイシヤン、運送業)の三名からのメッセージを送りました。転職した年齢、選んだ経緯、家族自分の変化、不安だったこと、良かったこと、今後の抱負など、飾りのない生のメッセージは参加者に伝わる物がとても大きかったようです。参加者の感想の一部です。

「自分も転職者の身なので、体験談は興味深く、不安事や苦勞話はとても参考になります。」「転職した方が皆、不安を持っていたことが解って良かった」などがありました。

実施後のアンケートでは、「異業種から介護職に就く方が多く、自分もチャレンジしてみたいと思いました。」と言う感想を頂き、ツアーの目的が果たされたかと思えます。

今後も私たちにできる介護人材確保の為に働きかけをしていきます。





1年を経て…地域と共に歩む笑顔の食材市

障がい者就労支援施設 もくせい苑



伊豆の国市千代田地区で行われている「笑顔の食材市」が開始され、一年が経過しました。地元店舗がお弁当、お惣菜、野菜、パンなどを出品し、障害者就労支援施設もくせい苑が、地域の方々の協力を得て移動販売を行うこの取り組みは、高齢化率が高い地域において、高齢者の買い物支援と閉じこもり予防を中心に開始されたものですが、それだけではなく地域住民と施設利用者の交流においても、大きな存在となっています。「久しぶりだね、元気だった?」「今日も来てくれたね!」地域住民から利用者へ掛けられる声は、店員と客というよりは、見知った仲間ようです。販売を終え、撤収する時に車へ荷物を運んだり、残りを数えたりする姿もすっかり定着し、笑顔

の食材市が地域の協力を得て成り立っていることを実感します。また販売を行っている千代田公園では伊豆総合高校の生徒が地域貢献の一環として工夫を凝らした手作りベンチを寄贈し、住民の憩いの場として、ますます広がりを見せています。

さらに今年に入り、高齢者施設「長岡寮湯の家」での販売も開始しました。こちらでも施設利用者、近隣病院からの帰りの際、バス待ちの方など様々な方が寄って行って下さり、買物とおしゃべりを楽しんでいます。湯の家職員による「見るだけでも良いから寄って行ってよ!」という呼びかけや、利用者手づくりの幟など、多くの協力を得ています。地元店舗の食材は「美味しい、他の店と違う!」と好評で、普段は施設を利用しない日に来るお客さんも居るなど、憩いの場所としての期待も広がっています。



ぬまづ まちピカ応援隊の取り組み

みはるの丘浮島



今年度みはるの丘浮島では、地域貢献の一環として初の取り組みとなる「ぬまづまちピカ応援隊」に参加しました。

駿河湾沼津インターのスマートチェンジが開通し、根方街道の東海大学入り口交差点から国道一号線へ出る道の交通量が増えたことに伴い、ゴミが所々に落ちている状況がありました。この道は、施設職員が通勤や送迎にもよく使い、夏にはひまわりランドへ出かけるなど思い入れもあり、その道を綺麗にしたいと思ったことがきっかけとなり参加することにしました。

活動は、5月、10月、2月と計三回行ないました。その都度軽トラックに山盛り一杯分のゴミを回収することができ、綺麗になった道を見ると達成感が湧きます。しかし一週間程経つとまたゴミが捨てられている現状があります。

この道は北を向くと富士山が見えとてもステキな道です。30年度は活動回数を増やし、もっと綺麗な道にしていけたらと思っています。

ゴミ拾いをしていると地域の方が声をかけてくださることも増えてきました。みはるの丘浮島も今年で15年目になります。今後もこの地で地域の皆さんに愛される施設を目指していきたいと思っています。



平成
29年度

◆◆ 苦情・要望等 受付状況報告 ◆◆

コミュニケーション
こそが一番!!

新年度になり、各施設において苦情解決第三者委員会が行われました。昨年度法人の各施設に寄せられた要望・意見や苦情等は、法人全体で43件ありました。

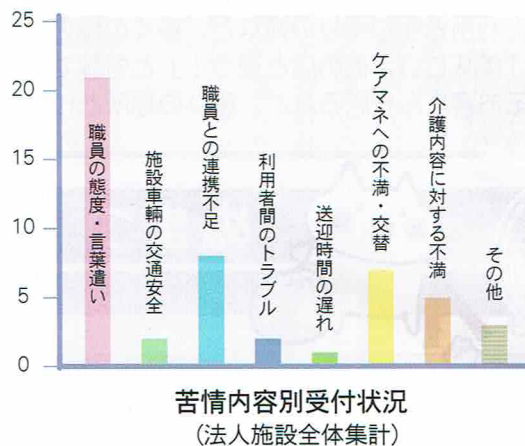
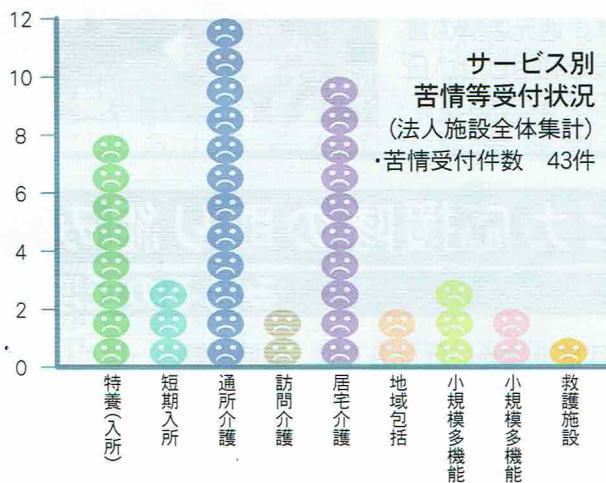
● 苦情等の受付状況

昨年度は法人の各事業において提供された介護サービスに対する苦情や要望はほとんどありませんでした。

反面、職員の言動や態度、サービス調整についての苦情や要望が目立ち、これは年々増加の傾向にあります。特にデイサービスやケアマネジャーに対する意見が多く見受けられました。度重なる介護保険法の改正により、デイサービス事業所等の提供するサービス内容にも介護保険創設時と比較すると大きな変化が生じています。各事業所では、どの様なサービスを提供し、そのサービスはどの様に行うのか、

しっかりとサービス利用に対する説明を行い、同意を得ること、相互のコミュニケーションを図ることが重要です。同時に、事業所間のコミュニケーションも大切です。ケアマネジャーは各事業所にて提供されるサービスの中身や質をしっかりと把握し、利用者のニーズにあったサービスの調整を行わなければなりません。それはどのケアマネジャーが対応しても同じサービスが調整・提供できなければいけません。

春風会では、部署内研修などを通じて職員一人ひとりのスキルアップに今後も努めて参ります。



- 春風会法人本部・特別養護老人ホームあしたかホーム
〒410-0302 沼津市東権路1742-1
TEL(055)967-1166(代) FAX(055)967-3566
- 特別養護老人ホーム伊豆中央ケアセンター
〒410-2402 伊豆市大野304
TEL(0558)72-8111(代) FAX(0558)72-7297
- 特別養護老人ホームぬくもりの里
〒410-2315 伊豆の国市田京1259-29
TEL(0558)76-6700(代) FAX(0558)76-7511
- 特別養護老人ホームみはるの丘浮島
〒410-0318 沼津市平沼929-1
TEL(055)969-3355(代) FAX(055)969-3385
- 障害サービス 生活介護 沼津虹の家
〒410-0302 沼津市東権路1742-1
TEL(055)967-2220(代) FAX(055)967-3566
- 障害サービス 生活介護 あおばの家
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-429
TEL(0558)76-6700(代) FAX(0558)76-6702
- 障害サービス 就労継続支援B型 もくせい苑
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-47
TEL・FAX(0558)76-6755
- 原高齢者福祉センター
〒410-0312 沼津市原1200-3
TEL(055)968-4510(代) FAX(055)968-4511
- ふれあいデイサービス(デイサービス一般型)
〒410-2505 伊豆市八幡33-1中伊豆ふれあいプラザ
TEL(0558)83-3380(代) FAX(0558)83-3380

- 天城放課後児童クラブ
〒410-3213 伊豆市青羽47
TEL(0558)87-1080
- 中伊豆放課後児童クラブ
〒410-2505 伊豆市八幡33-1中伊豆ふれあいプラザ
TEL(0558)83-2911
- 水晶苑生きがいデイサービス(通所事業)
〒410-2323 伊豆の国市大仁74-8
TEL(0585)76-4697
- 救護施設 沼津市立高尾園
〒410-0001 沼津市定高156-1
TEL(055)921-5722(代) FAX(055)921-5723
- ケアハウスはるかぜ
〒410-0318 沼津市平沼929-1
TEL(055)969-3382(代) FAX(055)969-3383
- 小規模多機能施設 北狩野ケアセンター
〒410-2401 伊豆市牧之郷116番地
TEL(0558)72-8811 FAX(0558)72-8860
- 地域密着型特別養護老人ホーム プレーグあしたか
小規模多機能型居宅介護支援事業所
〒410-0302 沼津市東権路1639-1
TEL(055)967-3400(代) FAX(055)967-3401
- 地域密着型介護老人福祉施設 プレーグおおひと
〒410-2318 伊豆の国市白山堂408-9
TEL(0558)76-7300 FAX(0558)76-7299
- 障害サービス ケアホーム なぎの家
〒410-2315 伊豆の国市田京1258-437
TEL(0558)77-1017

- 地域活動支援センター サポートセンター絆
〒410-2315 伊豆の国市田京1259-293
TEL(0558)77-1221
- 複合施設 ぷらっと月ヶ瀬
〒410-3215 伊豆市月ヶ瀬408-1
・あまぎ認定こども園
TEL(0558)85-2030 FAX(0558)75-8201
・あまぎデイサービス(デイサービス一般型)
TEL(0558)85-0816 FAX(0558)75-8201
・就労継続支援B型 事業所プラム(障害サービス)
TEL(0558)85-1919 FAX(0558)75-8201
・プラムカフェ
TEL(0558)85-2551 FAX(0558)75-8201
- 片浜・今沢地域包括支援センター
〒410-0874 沼津市松長12-3
TEL(055)969-7050 FAX(055)968-2177
- 伊豆市修善寺地区地域包括支援センター
〒410-2413 伊豆市小立野66-1 修善寺生きがいプラザ
TEL(0558)99-9301 FAX(0558)99-9302
- ながいず認定こども園
〒410-2505 伊豆市八幡282-1
TEL(0558)75-2810 FAX(0558)75-2811
- はら居宅介護支援事業所
〒410-0311 沼津市原町中2-7-11
TEL(055)941-8333 FAX(055)941-8334